

## 川原山(735m)から井原山(933m) ～標高差200mのサプライズ～

【報告者】T橋

【日時】2019年2月11日 【天候】曇りときどき雪

【参加者】T橋

### 《コースタイム》

野河内溪谷駐車場 0840ー飯場山ー川原山 1000ー水無登山口 1100ー井原山 1150ー690ピークー野河内溪谷駐車場 1340

### 《 報 告 》

野河内溪谷の北側に地味に尾根を伸ばす山域に、展望のよいピークがあると知ったのはわりと最近のこと。そのウワサの川原山から足を伸ばして井原山までのぐるり周回ルート歩いてみた。

人気のない溪谷の入口から林道や作業道をつないで淡々と登っていく。前日までの雨でやわらかくなった路面には鹿の足跡がチラホラ。多少の藪コギを覚悟していたけれど、あれよあれよと素直に尾根上最初のピーク飯場山に到達。ここからはテープもありなかなか快適な尾根歩きになる。

川原山は海側が開けてたしかに眺めが素晴らしい。糸島方面の可也山、玄界灘の島々、ドームや福岡タワーもはっきり見える。このあたりで北よりの強い風が吹き始めていた。

この先がメインルートらしく、分岐にもしっかりした道標があらわれる。とはいえ狙った地点に下りたいので地図をにらみながら進んでいく。舗装された立派な林道に下り、井原山の水無登山口まで軽めのランで距離を稼ぐ。

水無からのルートは実は初めて。鍾乳洞をのぞき込み、若芽が出始めたオオキツネノカミソリ群落を眺め、白くなった路面を踏みしめ、ってあれ？雪？しばらく行くと「こんなに積もっていると思わなくて」とあきらめて下山する人とすれ違う。どんだけ？大丈夫か自分の装備。わずかにシューズがゴア仕様でソックスが DRYMAX なのは救いか。多少の濡れには耐えるだろう。

標高を上げ、縦走路に出ると思わず声が出るほど立派な雪山。よくはないが悪化しそうでもない天気を確認して山頂へ速攻登頂。下山方向の三瀬峠方面へは誰もはいっていないようで、ルートが雪の重みに垂れ下がった笹で見えにくく今日イチの難所。さすがにここでルートミスはできない。標高をおとし雪がまばらになるまでは慎重に慎重に進んでいった。

縦走路からの下りに選んだ鉄塔尾根は、地元や市民有志「野河内往還の会」が整備維持している新しいルート。労山仲間の想山会も協力しているようだ。歩きやすくまた休憩地点なども整備しており、派生するルートもあるようでいろいろと楽しめそう。ピナクルとしてもこういう活動ができれば楽しいだろうな、いやその前に地元のいろんな山に登りたいと思わせる魅力を発信しないとな～(それが難しい)。



【開けた景色が楽しめる川原山735m。まだ雪の気配はない…】



【2時間後の井原山933m…】